

2017年 5月23日

小金井市連雀通りにおける弊社路線バス事故を受けた安全対策について

京王バス小金井株式会社

2016年1月7日に小金井市内連雀通り（小金井市前原町3-36先）にて弊社路線バスが、乗務員の意識喪失により車道を外れ沿道施設に接触、破損した事故につきまして、関係のみなさまに大変なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、あらためて心よりお詫び申し上げます。

2017年5月23日に国土交通省・事業用自動車事故調査委員会による事業用自動車事故調査報告書が公表されました。

弊社では「運輸安全マネジメント」輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、安全目標を策定し、安全輸送の実現に取り組んでおります。当該事故発生以降、とくに乗務員の健康管理につきまして、従前からの取り組みに加え、新たな施策等を講じております。

本報告書の内容を真摯に受け止めるとともに、さらなる施策の実施等、監督官庁である国土交通省のご指導をいただきながら、安全運行に努力してまいります。

なお、本取り組みは、京王電鉄バスグループ各社におきましても同様に実施しております。

【参考】健康管理に関わる取り組みについて

(※) …当該事故発生以降新たに取組んだ施策

1. 出庫前の点呼執行時
 - (1) 高血圧など要健康管理者に対する血圧測定の実施
 - (2) 国土交通省「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に記載されたチェック項目に基づく乗務可否の判断
 - (3) 個人の健康診断結果等を表示できるパソコン端末の順次設置とそれを活用した点呼の実施 (※)
2. 乗務中（運転中）の対処
 - (1) 本事例を取り上げた安全教育の実施により、体調異変を感じた場合の対処方法について全乗務員への周知徹底を図る (※)
3. その他の取り組み
 - (1) 健康診断結果等に基づく睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査対象者の拡大
 - (2) 乗務員（45歳以上）への脳MRI検査実施、および今後の定期実施 (※)
 - (3) 健康管理面談結果のデータベース化による個人健康管理の強化 (※)

健康管理以外のその他の取り組み等につきましては以下URLをご参照ください。

<http://www2.keio-bus.com/endeavor/anzen/unyuanzen.html>

以 上